



## 地域貢献・こども園に楽器寄贈



▲感謝状を贈呈された堀松建設工業(株)加藤総務部長(右)

堀松建設工業株式会社(留萌市・堀松和彦代表取締役社長)は、町認定こども園「おひさま」に楽器を寄贈しました。1月23日、同社の加藤孝史執行役員・総務部長が来庁し、鎌田副町長より、地域貢献感謝状が授与されました。同日、同社社員3名がこども園を訪れ、楽器の受け渡しが行われました。寄贈された楽器はマーチング・ドラム2台、卓上木琴2台、シンバル2台です。寄贈を受けた高橋拓希園長は、楽器をいただき、たいへん有り難い。お遊戯会での発表演奏などに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



## 天塩郵便局開局150周年



▲佐藤局長と記念撮影をするてしお仮面

1月23日、「天塩郵便局開局150周年記念事業セレモニー」が挙行され、1日郵便局長に委嘱された「てしお仮面」による記念品の配布や撮影会が行われました。  
天塩郵便局は明治9(1876)年1月1日に三等集配郵便局として開局。「天塩村」の村名が創設されたのがその2年後の明治11年なので、天塩町よりも歴史が長い郵便局ということになります。佐藤遵局長は「これからも地域のみなさまに親しまれ、愛され、頼りにされる、そんな郵便局を目指していきたいと思っています」と語りました。



## 中学生が除雪ボランティア



▲家の裏側の雪山を崩し運び出していく生徒ら

2月2日、天塩中学校生徒による毎年恒例の除雪ボランティア活動が行われました。生徒玄関前で生徒会長の赤塚大芽さんが「怪我や事故に気を付けて、高齢者のみなさんの手助けとなるよう頑張りましょう」と呼び掛けたあと、生徒と教員ら約50名がグループに分かれ新川団地などの高齢者宅を訪問。スコップやスノーダンプを用い、約1時間をかけて除雪作業を行いました。この日は青空が広がって気温も上がり、上着を脱いでTシャツ姿で作業に励む生徒の姿も見られました。



## 音楽ライブも テトテプラス



▲作品を見せてくれたワークショップの参加者(左)とじゅんきさん(右)

2月1日、サニースペース(海岸通4)で毎月恒例のコミュニティカフェ「おののの+ (テトテプラス)」が開催されました。今回は「エコクラフト」のワークショップが行われ、参加者は紙製のバンドから小さなカゴを編みあげてドライフラワーのアレンジメントを作りました。このほか天塩陶芸サークルや「すずぱん Cafe (豊富町)」が出店、午後からは鷹栖町在住の「じゅんき」さんによる音楽ライブが行われ、カフェ内は優しい歌声とギターの音色に包まれていました。